

今後の市の主な方策について（新規・拡充分）

1．交通安全関係

高齢運転者の交通事故が全国的に多発しているため、運転免許証の自主返納を促すため、自動車免許更新時の高齢者講習の受講者に対しアンケート調査を実施した上で、実態を踏まえた自主返納を推進する取り組みを検討する。

第10次室蘭市交通安全計画を踏まえ、特に高齢者、子ども、飲酒運転の根絶を重点項目に位置付け、交通安全教室の開催や交通安全啓発活動の推進を図り、交通死亡事故0に向けた取り組みを実施する。

2．防犯・暴力追放関係

不審者から子どもを守るためのパトロール隊の新たな団体の結成に向け、未結成地区連に対し働きかけを行い、さらなる子どもの安全を推進する。

オレオレ詐欺を含む特殊詐欺の被害が後を絶たないことから、被害防止対策の強化を図るため、室蘭警察署などと連携し、被害防止を啓発するための講習会や講座の開催を増やし、意識高揚を図る。

3．消費者関係

新たな悪質商法や消費者被害の防止に向け、室蘭市消費者被害防止ネットワークの加盟団体のさらなる増加を目指す。

消費者被害についての知識と消費生活センターの存在を市民に広く周知し、被害の未然防止するため、消費者生活サポート情報を作成し、平成29年3月号の広報むろらんの折り込みを通じ市民へ周知を図る。

社会人や大学進学などにともない、消費者トラブルに遭う機会が増え傾向があり、特に賃貸借、インターネット、マルチ商法などの消費者トラブルが増えることから、高校生に対する消費者教育の普及啓発が重要となるため、オリジナルパンフレットを配布し、若者向けの消費者教育を強化し、消費者被害の未然防止を図る。

実施予定 4校 720名（高校3年生）

4．高齢者関係

高齢者たすけ隊・見守り隊の活動事例集を作成し、登録事業者の拡大や制度の普及啓発等を図る。